



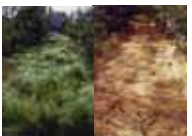






## 品目別生産コスト削減の基本的考え方(みかん)

優良晩かん類等への改植と園内作業道整備等による労働力分散と省力化  
 構造的な過剰感のあるうんしゅうみかんについて、極早生から早生、晩生品種への改植のほか、国産果実の端境期需要に対応した優良晩かん類等への転換を図り、収穫期間を分散させる。また、改植と併せて園内道・園内作業道を整備し、栽培管理や収穫時間をより短縮。  
 農作業受委託による作業時間の削減  
 防除、改植、園内道整備、施肥等の農作業を受託する組織を設立し、効率よい作業体制を実現。

コスト削減の取組	内容
優良品種・品種への改植 	うんしゅうみかんに加え、優良晩かん類等を導入することにより収穫時期の分散が可能 [ 雇用労賃の削減や規模拡大につながります。 ]
園内作業道等の整備 	園内作業道等の整備により、収穫物の運搬等作業の効率化・省力化が可能 [ 雇用労賃の削減や規模拡大につながります。 ]
スピードスプレヤーの導入 	園内作業道を設置しスピードスプレヤーを導入することにより、防除作業の省力化が可能 [ 効率的に散布することにより、農薬の使用量の削減にもつながります。 ]

コスト削減の取組	内容
スプリンクラーの多目的活用 	スプリンクラーをかん水だけでなく、防除作業にも活用することで、防除作業の時間の削減が可能 [ 防除のほか、摘果剤、液肥等の散布に活用が可能です。 ]
草生栽培の導入 	ナギナタガヤ等による草生栽培を行うことにより除草剤の使用量の低減や除草作業時間の削減が可能 [ 土壌に有機物が供給されるため、地力維持の点でもメリットがあります。 ]
フォークリフトの利用 	フォークリフトを利用し、収穫物をパレットごとにコンテナで管理することで、搬入、搬出の効率化・省力化が可能

コスト削減の取組	内容
省エネ対策 	多層カーテンの整備、廃熱回収機の利用により、省エネ効果を高め、暖房経費の削減が可能 [ ハウスの保温性を高めるとともに、廃熱を有効活用することにより、重油使用量の削減が可能です。 ]
経営診断	普及組織、JA等が行う経営診断を行っている場合、積極的に受け、経営改善につなげる。
労働時間の管理とピーク時の対応	労働時間を記帳し、作業別労働時間やピークなどを把握し、作業の効率化を検討する。また、雇用労力を活用するのか、作業委託に出すのかを検討する。
経営規模の拡大	経営規模の拡大を目指す場合には、農地がまとまり、作業効率が良くなるよう、農業委員会等と十分調整する。
資材費共通 購入時の価格比較	複数の販売業者から見積もり等を取り、割引制度も含め価格やサービス等を比較した上で選択する。

コスト削減の取組	内容
低価格肥料の選択	輸入高度化成肥料やBB(バルクブレンド)肥料など低価格なものを選択する。
単肥の自家配合	高度化成肥料に比べ低価格な単肥を購入し、自ら配合する。
バラ・フレコンによる受入	大規模経営や集落営農の場合には、バラやフレコンによる受け入れることで、20kg袋に比べ、低価格で購入できる。
トラック満車直行等配送条件の確認	大規模経営者や集落営農の場合には、港湾や工場からのトラック満車条件による低価格設定の有無を確認し、活用する。
肥効調節型肥料の利用	割高ではあるが、省力化効果が高い肥効調節型肥料を利用する場合には、トータルでのコスト低減効果を確認しつつ、利用する。
土壌分析に基づく適正施肥	定期的に土壌診断を行い、ほ場にあった成分構成の肥料の選択や施肥量を調整し、過剰な肥料を節減する。
大型包装農薬の選択	大規模経営者や集落営農の場合には、農薬の包装規格を確認し、大型包装品を活用する。
低価格農薬の組合せ等による防除	特許切れ農薬等低価格な農薬の組合せによる防除の実施
病害虫の発生状況に応じた防除	スケジュール防除ではなく、ほ場での病害虫の発生を観察するとともに、発生予察情報を活用した適期・適切に防除を行う。

コスト削減の取組	内容
作業規模に応じた馬力・能力の選択	コスト低減の観点から、過剰な馬力・能力のものを選択しないように注意する。
低価格農機(JAグループ独自型式等)の選択を検討	農業機械(SS)の購入の際、JAグループ独自型式(シンプルな輸出仕様等で約2割安)などの低価格農機の選択を検討する。
中古農機の利用	農業機械の購入の際、初期投資の少ない中古農機も検討する。
経営内容に応じた装備等の選択	農業機械の価格は装備内容等によって大きく異なることから、経営内容に応じて装備等を選択する。
技術の確かな販売店を選択	修理整備を販売店に任せる場合、県の認定を受けた整備施設かどうかを確認して、購入先を選択する。
優遇税制の利用	農業者が農業機械を取得・リースした場合、特別償却や税額控除が受けられる中小企業等投資促進税制などの優遇税制を活用する。
作業受託の実施	現在、所有する農業機械の馬力や能力に余裕がある場合には、作業受託を検討・実施する。
共同購入・共同利用	効率的な大型の農業機械を導入する際、作業規模からみて、1戸では過剰投資となる場合、共同購入・共同利用を実施する。
定期的な保守点検による長期利用	作業中の突然の故障は経営的ダメージが大。そのため、自ら整備技能を修得するか、確かな整備工場での定期的な保守点検を実施する。

コスト削減の取組	内容
免税軽油の利用	農業者が直接又は共同で県税事務所で免税手続きを行い、通常価格より32円/リットル安い免税軽油を利用する。
省エネ運転の実施	農林水産省がまとめ、ホームページに掲載している「省エネ利用マニュアル」を参考に農業機械の燃費向上を図る。 (例) ・燃費悪化を防ぐため、エンジンオイルフィルターの交換や季節に合ったオイルを選ぶ。 ・車輪の滑りを防ぐため、タイヤの空気圧を適正にする。 ・作業の負荷に合った適正なエンジン回転で作業する。
共同利用施設の稼働率の確保	共同利用施設の利用料金を引き下げするため、担い手を中心となって施設の能力をフル活用する。
作業受委託の推進	賃借料と農機具費は裏腹の関係にあり、自ら機械を更新して作業を行うべきか、作業を委託すべきか検討する。
諸材料費 出荷箱の茶箱化	段ボール箱の色を白や黒のカラー箱から段ボール原紙の色である茶色に切り替えると箱代は5%程度安くなる。